

令和4年度若年層献血推進アクションプラン

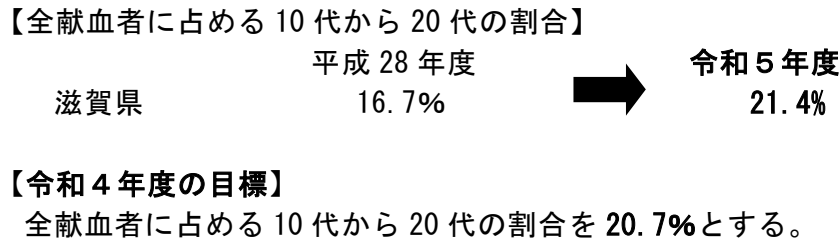
はじめに

全国的に若年層の献血率が減少する中、平成28年度の本県の10代から20代の献血者の構成比率は全国45位となっており、若年層の献血者数の向上は喫緊の課題となっている。

若年層の献血者の構成比率を向上させるには、関係者が連携し、効果的に普及啓発を実施する必要があることから、「令和4年度若年層献血推進アクションプラン」を作成し、若年層献血推進のための実行計画とする。

令和4年度目標

令和5年度までに、10代から20代の献血者の構成比率を、平成28年度の全国平均値21.4%とすることを目標とする。



1 学生献血推進イベント等の実施

(1) 学生による街頭献血キャンペーンの実施

主体：滋賀県学生献血推進協議会

内容：滋賀県学生献血推進協議会が中心となり、夏季（サマー献血）、秋季（ハロウィン献血）および冬季（クリスマス献血）において啓発イベントを実施する。

時期：令和4年4月～

(2) 学生による若年層向けパンフレットの製作

主体：滋賀県学生献血推進協議会

内容：学生の目線で同世代に対して献血をアピールする内容のパンフレットを作成し、高校生・大学生等に配布する。

時期：令和4年4月～

2 滋賀県献血推進ポスターコンクールの実施

滋賀県献血推進ポスターコンクールの実施

主体：滋賀県

協力：日本赤十字社滋賀県支部、滋賀県赤十字血液センター

内容：県内在住・通学の中学生と高校生を対象に滋賀県献血推進ポスターコン

クールを実施する。

進め方：県内の中学3年生と高校1年生に対してチラシ兼募集要項を配布

(令和4年6月頃)

応募作品の審査会開催(令和4年10月頃)

入賞作品展示会の実施(令和5年1月～2月頃)

(参考) 令和3年度滋賀県献血推進ポスターコンクール

応募状況

募集期間：令和3年7月1日～9月15日

募集方法：滋賀県ホームページに掲載、県内中学校・高等学校に募集要項を配布(チラシ)

応募状況：県内中・高等学校26校より348作品の応募、8作品入賞

入賞作品の展示

滋賀県庁 令和4年1月12日～1月25日

フォレオ大津一里山 令和4年2月14日～2月28日

平和堂アル・プラザ水口 令和4年3月2日～3月16日

3 高校生向け献血学習事業の実施

(1) 県内各高校へ献血学習実施依頼文を发出

主体：滋賀県(教育委員会事務局と連名で发出)

内容：献血学習の実施依頼(令和3年度末)

献血学習アンケート調査の実施(令和4年度当初)

(2) 献血セミナーの実施

主体：滋賀県赤十字血液センター、滋賀県

内容：①高校へ献血学習を依頼する際に、滋賀県赤十字血液センターが実施する献血セミナーについて案内し、実施を呼びかける。

②高等学校等から、県薬務課に薬物乱用防止教室等の講演依頼があった際には、献血セミナーの同時開催を依頼する。

時期：令和4年4月～(随時)

(参考) 令和3年度献血セミナー

県内14高校において、献血セミナーを開催した。

(3) 愛の血液助け合い運動ー16歳からの献血ーの実施

主体：滋賀県、滋賀県献血協会

内容：①「愛の血液助け合い運動」に合わせて、10代を対象に、献血をする
と記念品が進呈されるキャンペーンを実施する。キャンペーンポスターを県内の高校、大学等に掲示を依頼する。

②滋賀県大津合同庁舎に献血推進横断幕を掲示する。

時期：令和4年7月

(4) 高校生献血キャンペーンの実施

主体：滋賀県献血協会

内容：高校生に複数回の献血をしてもらうよう、夏のキャンペーンと同様に、

献血者が減少しがちな秋季から冬季にかけて、献血をすると記念品が進呈されるキャンペーンを実施する。キャンペーンチラシの裏面には、献血に関する基礎知識等を掲載し、まだ献血学習を行っていない学校に対して、献血学習の実施を依頼する。

時期：令和4年12月～令和5年3月

(参考) 令和3年度実施状況

滋賀県内の献血バスまたは献血ルームで献血をした高校生先着1,000名に、記念品(ワイヤレスイヤホン)を贈呈した。また、キャンペーンチラシを県内の高校に通うすべての高校生に配布した。

令和3年12月～令和4年2月 高校生献血受付け者数 719人(前年同月…1,107人)

4 高校献血の実施

(1) 高校献血の実施依頼

主体：滋賀県、滋賀県赤十字血液センター

内容：①高校献血の実施について各高校へ文書で依頼する。

②アンケート結果において献血学習に積極的な高校に連絡を取り、直接訪問して、高校献血の実施を依頼する。

時期：令和4年4月～

(参考) 令和3年度高校献血実施校14校

令和4年3月文書で県内各高等学校に高校献血実施の依頼

(2) 関係者への献血協力依頼

主体：滋賀県

内容：公立高等学校PTA連合会・高等学校長協会・養護教諭研修会において献血の現状と高校献血について説明し、実施を依頼する。

時期：令和4年6月～

5 大学生等への普及啓発の実施

(1) 県内大学等への献血協力依頼

主体：滋賀県赤十字血液センター、滋賀県

内容：県と滋賀県赤十字血液センターが一体となり、県内大学等を訪問するなどして、献血に対する協力を更に依頼していく。

時期：令和4年4月～(随時)

(2) 「はたちの献血キャンペーン」の実施

主体：滋賀県

協力：滋賀県赤十字血液センター

内容：①はたちの献血キャンペーンに合わせて、10代から20代の方を対象に、献血をすると記念品が進呈されるキャンペーンを実施する。キャンペーン用啓発物品は、市町の成人式会場や県内大学・専修学校等において配布する。

②滋賀県大津合同庁舎に献血推進横断幕を掲示する。

時期：令和5年1月～2月

(参考) 令和3年はたちの献血キャンペーン

○10代から20代の方を対象に献血をすると記念品が進呈されるキャンペーンを実施し、キャンペーン周知用啓発物品を各市町が実施する成人式や自動車教習所等で配布した。

○滋賀県大津合同庁舎に献血推進横断幕を掲示した。

掲示期間 令和4年1月5日～1月31日

6 関係団体によるポスター等の掲示

- (1) “まかせてよ！もっと身近に薬剤師”事業展開の一環として、(一社)滋賀県薬剤師会会員薬局において、厚生労働省や日本赤十字社が作成したキャンペーン用ポスターを掲示する。また学校薬剤師による担当校保健委員会での献血推進協力依頼を行う。

7月：「愛の血液助け合い運動」月間期間中

1月から2月：「はたちの献血キャンペーン」月間期間中

(参考)

滋賀県薬剤師会の協力を得て会員550店舗において、令和3年「愛の血液助け合い運動」および令和4年「はたちの献血キャンペーン」用ポスターを掲示。

- (2) 各関係団体が開催するイベント等において、厚生労働省や日本赤十字社が作成したキャンペーン用ポスターを掲示やチラシの配布を行う。